

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470300375	事業の開始年月日	平成14年9月1日
		指定年月日	平成26年9月1日
法人名	株式会社カスタムメディカル研究所		
事業所名	スカイホーム横浜		
所在地	(220-0073) 横浜市西区岡野2-8-3 KMプラザ3・4階		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	17 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成26年10月13日	評価結果 市町村受理日	平成27年1月16日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/Details.aspx?IGNO=ST1470300375&SVCD=320&THN0=14100>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

年間行事は、ほとんど毎月行います。その他に大きなイベントとして【お花見・夏祭り・バス旅行・クリスマス会】に力を入れています。
ホームで行う 夏祭りやクリスマス会にご家族・地域の方達の参加が多く、食事作りや準備もお手伝い下さります。
月に一度の外出にはホーム全員で 歩いていかれたり、車・電車で行く事もあります。
年に一度のバス旅行はリフト付きの大型バスを借り、寝たきりの方でも参加できる様支援しております。
いずれも、職員が企画を立て企画書を作成し、細かい配慮を行い実行します。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成26年11月14日	評価機関 評価決定日	平成26年12月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所はJR横浜駅西口から徒歩10分、相鉄線平沼橋駅より徒歩3分のところにあります。平沼高校前交差点近くの、2車線通りに面したマンションを思わせる4階建てビルの3～4階にある2ユニットのグループホームです。1階は同じ法人の小規模多機能型事業所、2階は同法人の有料老人ホームで福祉の複合建物となっています。屋上では洗濯物を干したり、プランターで夏野菜を楽しむ場所があります。また屋上から横浜駅周辺のビル街や、みなとみらいのランドマークなど眺望のよいところです。近くにはスーパーや交番、公園、学校などの公共施設があります。開設後10年余で地域に密着した事業所としてすっかり馴染んでいます。

<優れている点>

事業所では日常の散歩や買い物以外に、利用者や家族の要望を踏まえて毎月外食(外出)に出かけて楽しむ機会を作っています。最寄り駅より電車で外出することもあります。また、1年に1回利用者(家族)は毎月積み立てをして、大型バスを貸切り利用者全員(家族の参加もある)でバス旅行を実施するなど積極的に外出の機会を作って利用者、家族から喜ばれています。

<工夫点>

事業所は2車線道路に面していますが、電柱や電線などのケーブルの障害物があり消防はしご車が利用できない難点があります。各階に備えている避難用袋を試用した訓練や厨房はIHクッキングヒーターを使用と、各ユニットごとに、初期消火を意識した毎日の防災担当を決め、緊急時に備えています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	スカイホーム横浜
ユニット名	虹の橋

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念は玄関・日々の記録の表紙に掲示し、意識付けをしています。また、朝の申し送りやカンファレンスの際話し合い、日々のケアに生かされているか確認しています。	理念は開設時に作成して以来継続しています。各フロアの入り口に掲示し、毎月のフロア会議でも確認し職員は共有しています。職員は四つの理念を念頭に実践に努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入し、行事に参加させて頂いています。また、年末の餅つきの際、搗き上がったお餅を地域の方にお配りしたり、盆踊りを教えて頂いたり親交を深めております。地域の高齢者の介護の相談や中学生の職場体験の受け入れ、ボランティアの方々の墨絵・エアロビクスも行っています。	利用者各人が加入しています。自治会の案内で運動会や町内餅つきに参加しています。夏祭りのお神輿見学、公会堂のイベントにも出かけ、地域との交流を図っています。中学校の体験学習や墨絵、フラダンスなどのボランティアも来ています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の会合の際、ホームのパンフレット・認知症を簡単に説明したパンフレット等の、設置のお願いをさせて頂いております。消防訓練等に参加して頂き、地域の方々に認知症の人の理解をして頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域の方やご家族に参加して頂き、日頃の活動状況や取組を報告し、話し合いを行っております。アクシデント・インシデントがあった際は隠さず報告し助言を頂いております。今年より、単独で会議をする事でご家族様の参加が増えました。	2ヶ月に1回開催しています。メンバーは家族、町内会長、民生委員、地域包括担当です。ホームの活動や外部評価の報告などを行っています。避難救助袋の試用やバス旅行の企画、AED購入検討などの意見交換を運営に活かしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	定期的に横浜市や区のグループホーム連絡会に参加し、情報交換を行っています。又、高齢課の方々と交流を持ち、ホームの空き状況やケアサービスを伝えながら、深い関係を築くように努めています。	行政からの困難事例の相談、推進会議の報告、認定更新時など行政担当と連携し、情報交換しています。区のグループホーム連絡会には毎年出席し、交換研修や情報交換などで運営に活かしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	拘束の定義を正しく理解し、入居者の日々の行動を観察し、必要に応じてスタッフ会議等で、拘束のないケアを目指し、話し合いの場を設けています。日中、玄関の施錠はせず、チャイムで開閉がわかる様になっています。	「身体拘束マニュアル」や「拘束ゼロの手引き」は常に職員が見れるところに備えてあります。年1回の研修で周知しています。不適切な言葉は職員相互で注意しています。玄関は施錠せずに、開閉時は美しい音色のチャイムが鳴ります。居室の鍵は自己管理しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	積極的に研修に参加し、研修内容についても職員全員で正しく理解出来る様に、何度でも話し合いを重ねています。又、日々のケアの中で何が虐待に当たるか、入居者の目線に立ち、話し合いが出来る様に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修に参加し、全職員で共有し、事業や制度の理解に努め、ご家族様へも必要に応じて、ご説明させて頂いて居ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	グループホームとして、出来る事出来ない事を明確に説明し、ご家族や入居者の意向、要望等を伺い、十分に納得同意をして頂いたうえで、契約を結んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議等で、第三者を含めて、自由に発言出来る場を設け意見交換を行い、サービスの改善に努めております。また、ご家族が来所された際には、一緒にお茶を飲み、意見や要望を出しやすい雰囲気作りにも努めています。	家族からは訪問時や運営推進会議、電話、メールなどで要望、意見を聞いています。クリスマスの開催場所の希望や外食先の紹介など、家族の要望や提案はホームの運営に反映しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度のスタッフ会議、毎朝の申し送りにおいて、スタッフの意見を聞き、必要があれば、施設長会議に話を持って行く等反映させています。又、新しい入居者の受け入れ等も、スタッフの意見を取り入れております。	毎月のスタッフ会議や毎日の申し送りの際、要望や意見、提案を聞いています。年1回個人面接の機会に聞いています。管理者は常に要望や意見が言える雰囲気を作っています。震災時の対応や排便の色で健康状態の管理など要望や提案がされています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人ひとりの得意分野を見付け、成功した際の自信や意欲につなげていける様に、自分の中で短期目標を定め、それに向かって努力していける様に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフ一人一人の力量を把握し、社内外の研修の参加を割り当て、スキルアップが出来る機会を作るように、努めています。又、研修の報告も、スタッフ会議等で共有出来る様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	グループホーム連絡会やブロック会等に参加し、同業社との職員交換研修を行って、ネットワーク作りをしながら、個々のサービスも同上させられる様に、取り組んでおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	「傾聴」「受容」「共感」を基本的姿勢とし、適切なコミュニケーションを通じて、信頼・安心出来る関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居の相談があった段階からご家族が困っている事を伺い、時間をかけて、家族とコミュニケーションを図り、不安の解消により、関係作りに努めています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前・相談の段階から状況をしっかり聞き、ケアマネージャー、看護職員も含め、職員全体で協議を重ね、自立支援に向けての対応に努めています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人の持っている能力に応じ、得意とすることを引き出し、楽しく作業をして頂いたり、又、安心して生活が送れる様、関係を築ける様努めております。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族とは常に連絡が取れる様、電話やメール、手紙などで、情報を共有できる様、努めております。また、イベントなどの参加を呼びかけ、ご家族が来所しやすい環境作りに努めております。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ホームのイベント（行事）にご家族にも参加して頂き、利用者様と一緒に過ごす時間を作っております。ご家族をはじめ、ご友人等の面会時には、居室やリビングでゆっくり過ごして頂いたり、又、ご自宅に外泊するなど、支援に努めております。	友人や知人が来て湯茶でくつろいでいきます。電話や手紙の交信も継続支援をしています。家族の協力で墓参りや外泊、買い物、理美容なども継続支援しています。家事や編み物、酒タバコなどの趣味や嗜好も続けられるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共同生活の中で他の利用者と孤立せず、係りを取れるように分け隔てなくコミュニケーションを取り、関係性を把握し支援に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後もイベントの参加を呼びかけたり、その方やご家族の相談には必要に応じた支援に努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の生活の様子を《入居時基本情報》に記入して頂き、ご本人やご家族の希望・意向を把握し理解、検討に努めております。 又、困難な場合にはスタッフ間で共有し安心した生活を送れるよう日々検討しております。	日常の会話を通して把握しています。居室や入浴時、買い物などの場所や時間を利用して把握しています。意思表示の困難な利用者は表情や態度、家族の協力や生活歴などで把握するようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今までの生活環境や暮らし方を基本情報で把握し、尚かつ 小さな事でもご家族にお伺いし支援に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	24時間の生活の様子を分かりやすい様に個人記録に記入して一日のリズムを把握しております。 一人ひとりの状態を見極め、心身状態・残存機能も把握し利用者様が安心して過ごせる様努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	原則三ヶ月ごとにケース会議を開催し、話された内容を六ヶ月ごとに介護計画書に反映しております。 状況によっては、一ヶ月で見直ししたり、ご家族と主治医の面談内容も取り入れたりしております。	入居時の初回アセスメントは1ヶ月後に見直し本計画を作成し実施しています。原則3ヶ月ごとにケース会議を実施し半年ごとに見直しています。計画作成の際は3名以上の職員の参画、医療記録や家族の意見も反映しています。作成後家族の確認を経て実施しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	利用者様の様子や職員のケア・気づきを24時間に対応した用紙（個人記録）にその都度、記録しております。 それらは、見やすくファイルする事で情報を共有できる様にしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	日々のケアの中で、ご本人の状況に変化が見られたら、申し送りの機会を使ってケアの見直しなど柔軟に対応し個々にあったサービスを取り入れております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	在宅の頃から本人を担当している区役所の方や包括の方などに連絡を取り、必要があれば面談を設けたりしております。 又、地域のボランティアの方々と繋がりを持ち、イベントの際に参加して頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携医療機関より往診を受けており、その事を契約時の重要事項説明書で説明していますが、ご本人の通い慣れた医療機関がある場合は個別に通院しております。	利用者は、継続してかかりつけ医の受診が出来ます。協力医の内科は月2回、歯科は月4回の往診があり、訪問看護もあります。眼科や皮膚科などは外来通院で、原則家族対応となっています。処方箋などで医療情報は共有しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度、看護師の訪問を受け、何かあった場合は夜間でも直ぐに連絡が取れる様になっており、必要に応じて看護師の助言を頂き医療機関の受信も支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が必要と判断された場合は主治医に迅速に医療が受けられる様に支援しております。 又、医療機関の相談員とも連携を取り情報交換をしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	24時間の医療機関と連携を取って対応する事を契約書に提示し説明しております ご本人・ご家族との話し合いは兆候が多くなった時点で始め、方針の統一を図り同意書を交わした上で支援しております。	「重度化指針」は契約時に交わしています。看取りの経験があり事例検討などで職員のスキルアップを図っています。常に家族的な雰囲気をもっと対応しています。家族の意思を中心に医師、事業所との連携を積み重ねて看取への取り組みをしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急マニュアルをスタッフが把握し、申し送り時や月に一度のスタッフ会議時を活用し、備えております。 また、救急の研修に参加したり、応急手当や初期対応が出来るように訓練を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	建物の構造に問題がある為、避難方法を検討したり、夜間想定訓練を実施するなど、地域の方も含め、災害時の対応訓練に取り組んでおります。 パニックにならない様、リビングには住所・電話番号を記した情報も掲示しております。	年2回の夜間を想定した避難訓練を実施しています。訓練は消防署の立ち合いのもと近隣地域の人の参加も得て行い、人工呼吸法やAEDの使い方の指導も受けています。備蓄は食料や水などを3日分、その他ランタンやコンロ、排泄用パットなども準備しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	目上の方に対する接し方や言葉遣いは、利用者様を尊重し、誇りやプライバシーを傷つけない様気を配りながら対応しております。	職員は人生の先輩として接することを基本に、毎月行う内部研修会でも接遇マナーの研修を行っています。利用者の名前の呼び方は、名字にさん付けを原則としています。プライバシーに関する個人記録などは事務所で鍵をかけ保管しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	毎日の生活の中で、本人の思いや希望を伺い自己決定できる様に支援しております。思いを表出できない方には、少しの事でも選んで頂けるよう働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ホームでの生活は常に利用者様本位で介護者本位にならず、利用者様のペースやスタイルを尊重し、その日の一人ひとりの心地よい時間を支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	今日はどの洋服が着たいか利用者様に選んで頂き、選ぶのが困難な方も、日々のコミュニケーションの中で好みを把握し、お洒落できる様に支援しております。外出時にはお化粧品したり、ブローチをしたりと支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューはカロリーや栄養を考えたメニューをしようしております。家庭的で明るい雰囲気ですることができる様努めております。個々の能力に合わせて調理補助・片付けを手伝って頂き、楽しめる事の居場所作りもしております。	食材は事業所で調達しメニューは栄養士が作成しています。調理は職員で季節ものを主に、利用者の形態に合わせて提供しています。利用者は味見したり、下膳やお茶入れなど自らの役割を發揮しています。外食や季節の行事食も楽しみにしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事や水分量はその方に合わせて支援しております。又、一日を通してどの位の量を摂っているか、個人記録に記入し情報を共有しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	清潔の為だけではなく健康の為にも重要と考え、食後は必ず口腔ケアをしております。夕食後は入歯洗浄剤を使用し、清潔を保っております。定期的に歯科医が来て口腔ケアを行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を作成し、排泄の記録を参考に排泄パターンを把握し、さりげなく声かけし、トイレへ誘導し排泄出来る様支援しております。リハパンやパットの使用をなるべく最小限になるよう排泄表で共有し支援しております。	排泄表により排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っています。失禁した場合はさり気ない声掛けでシャワー室や居室に案内し対応しています。改善に向けては機会あるごとにトイレに座る習慣をつけて貰うようにしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	一日の水分摂取量をチェックし、水分を小まめに摂れる様に工夫しております。日常、適度な運動を取り入れ腸の働きを良くし、便秘の予防に努めております。又、個々の排泄パターンに合ったトイレ誘導をする等の支援もしております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的に週二回、入浴の日を設けてありますが、本人の希望・体調に応じて入浴できる様配慮しております。好きな方には時間も決めずに入浴して頂いております。重度化に伴い、職員二人対応で入浴する等、安心の配慮もしております	利用者の希望があれば好みに応じて長めの入浴などが行えるよう配慮しています。菖蒲湯や柚子湯などは季節に応じて採り入れ、香りのある入浴剤も自由に使うことが出来ます。安全や脱衣所の室温にも配慮し安心して入浴できるよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様の状態・睡眠状況に合わせて休息を促したり、日中 個々のペースで身体を動かして頂き、夜間 安心した睡眠に繋がる様 支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局より届く内服薬の情報をファイルにいつでも見られる様にしています。ご本人の症状・体調の変化があった場合は主治医に伝え、連携を取っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人一人の能力や趣味を把握し、それを活かされる様、料理の手伝いや散歩・買い物など喜びが感じられるよう過ごして頂き、気分転換の支援に努めております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日はご本人の体調・希望に合わせて、近くの公園に散歩や買い物へと外出できる様支援しております。又、個々の希望で距離がある所へ外出したい場合は企画を立て、対応に努めております。	近隣の公園、食料品店や大型スーパーが日常の散歩のコースで、買い物や食事をすることもあります。事業所の屋上では家庭菜園や外気浴などが楽しめます。年に1回、介護用バスを使い千葉など全員で遠出の旅行をし、景色や海鮮料理などを楽しんでいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が出来ない方、ご家族様と相談の上管理していますが個々の能力に応じて所持・利用できる様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は希望があればいつでも利用できます。取次も可能です。手紙は職員が預かり投函したり、一緒に投函しに行ったりしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用部分には利用者様の作品や季節を感じられる様に飾りをしたり、外出先で撮った写真を貼ったりしております。又、温度や湿度、明るさに気を配り外気や日差しを入れ、心地よい空間作りに努めております。	リビング兼食堂はテーブル、ソファ、テレビなどを備え、利用者は思い思いに過ごすことが出来ます。随所に観葉植物や花が活けてあり、リビングにはクリスマスツリーや紅葉の貼り絵などあり季節感を出しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下の椅子に座って気の合った利用者様と談笑されたり自由に使って頂いております。又、リビングで多くの時間を過ごして頂ける様居場所の工夫に心がけております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室は個々の利用者様の自宅に近い環境にしたいので馴染みの品をお持ち頂いて安心して生活できる様にしております。	居室は洋室と和室があります。介護用ベッド・エアコン・クローゼットなどが備えられ、利用者は愛用のタンス・鏡台・飾り物などで自宅のような居心地のよい住まいにしています。家族より要望のあった清潔維持には居室清掃表により換気や清掃に努めています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来る限り自立した生活が送れる様一人一人の出来る事をよく理解し、安全で安心した生活が送れる様に支援の工夫に努めております。		

事業所名	スカイホーム横浜
ユニット名	赤い靴

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念は玄関・日々の記録の表紙に掲示し、意識付けをしています。また、朝の申し送りやカンファレンスの際話し合い、日々のケアに生かされているか確認しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入し、行事に参加させて頂いています。また、年末の餅つきの際、搗き上がったお餅を地域の方にお配りしたり、盆踊りを教えて頂いたり親交を深めております。地域の高齢者の介護の相談や中学生の職場体験の受け入れ、ボランティアの方々の墨絵・エアロビクスも行っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の会合の際、ホームのパンフレット・認知症を簡単に説明したパンフレット等の、設置のお願いをさせて頂いております。消防訓練等に参加して頂き、地域の方々に認知症の人の理解をして頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域の方やご家族に参加して頂き、日頃の活動状況や取組を報告し、話し合いを行っております。アクシデント・インシデントがあった際は隠さず報告し助言を頂いております。今年より、単独で会議をする事でご家族様の参加が増えました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	定期的に横浜市や区のグループホーム連絡会に参加し、情報交換を行っています。又、高齢課の方々と交流を持ち、ホームの空き状況やケアサービスを伝えながら、深い関係を築くように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	拘束の定義を正しく理解し、入居者の日々の行動を観察し、必要に応じてスタッフ会議等で、拘束のないケアを目指し、話し合いの場を設けています。日中、玄関の施錠はせず、チャイムで開閉がわかる様にしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	積極的に研修に参加し、研修内容についても職員全員で正しく理解出来る様に、何度でも話し合いを重ねています。又、日々のケアの中で何が虐待に当たるか、入居者の目線に立ち、話し合いが出来る様に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修に参加し、全職員で共有し、事業や制度の理解に努め、ご家族様へも必要に応じて、ご説明させて頂いて居ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	グループホームとして、出来る事出来ない事を明確に説明し、ご家族や入居者の意向、要望等を伺い、十分に納得同意をして頂いたうえで、契約を結んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議等で、第三者を含めて、自由に発言出来る場を設け意見交換を行い、サービスの改善に努めております。また、ご家族が来所された際には、一緒にお茶を飲み、意見や要望を出しやすい雰囲気作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度のスタッフ会議、毎朝の申し送りにおいて、スタッフの意見を聞き、必要があれば、施設長会議に話を持って行く等反映させています。又、新しい入居者の受け入れ等も、スタッフの意見を取り入れております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人ひとりの得意分野を見付け、成功した際の自信や意欲につなげていける様に、自分の中で短期目標を定め、それに向かって努力していける様に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフ一人一人の力量を把握し、社内外の研修の参加を割り当て、スキルアップが出来る機会を作るように、努めています。又、研修の報告も、全体会議等で共有出来る様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	グループホーム連絡会やブロック会等に参加し、同業社との職員交換研修を行って、ネットワーク作りをしながら、個々のサービスも同上させられる様に、取り組んでおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	「傾聴」「受容」「共感」を基本的姿勢とし、適切なコミュニケーションを通じて、信頼・安心出来る関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居の相談があった段階からご家族が困っている事を伺い、時間をかけて、家族とコミュニケーションを図り、不安の解消により、関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前・相談の段階から状況をしっかり聞き、ケアマネージャー、看護職員も含め、職員全体で協議を重ね、自立支援に向けての対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人の持っている能力に応じ、得意とすることを引き出し、楽しく作業をして頂いたり、又、安心して生活が送れる様、関係を築ける様努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族とは常に連絡が取れる様、電話やメール、手紙などで、情報を共有できる様、努めております。また、イベントなどの参加を呼びかけ、ご家族が来所しやすい環境作りに努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ホームのイベント（行事）にご家族にも参加して頂き、利用者様と一緒に過ごす時間を作っております。ご家族をはじめ、ご友人等の面会時には、居室やリビングでゆっくり過ごして頂いたり、又、ご自宅に外泊するなど、支援に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係・状況を把握し、孤立した状態にならない様に一人一人を理解し、支え合える関係になる様支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了した後も、ご本人・ご家族様には必要に応じて相談に乗ったり、フォローに努めております。 また、逝去されたご家族様にはグリーンケアに努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時の基本情報を基に、利用者の生活や希望、意向などを把握し介護者本位にならない様、理解検討に努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の様子を基本情報に記入して頂いて、尚かつご家族様にもお伺いし、これまでの暮らしの把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	朝の『あはようございます』から夜の『おやすみなさい』まで24時間の様子を個人記録シートに記入し、一日のリズムを把握します。 心身状態を理解し、残存機能が活かされる様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	三ヶ月に一度、カンファレンスとモニタリングを行い、ご本人・ご家族の意向を伺い、利用者本位の介護計画書を作成する様に努めております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録にはセター方式を用いて、ご本人やケア者が話した事、日頃の様子がわかる様に記入しております。介護計画書の見直しにも活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来る限り、ご本人・ご家族のニーズに対応し、意向に沿った柔軟な支援に努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	月に数回 地域のボランティアの方が来て下さります。その方に合った力が発揮できる様配慮しながら参加して頂いております。町内の繋がりも大切にし、地域の学生の研修受け入れも行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	連携医療だけでなく、今までのかかりつけ医の利用も配慮しております。毎月のホーム便りには個々の状態などを記載し、ご家族に報告をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度、看護師が訪問し、その際に情報を伝え相談し、必要があれば医師に報告し指示を仰いでいます。 急変時には（夜間なども）電話対応もしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が必要と必要と診断された時は、主治医に情報提供書を作成して頂き、迅速に医療が受けられる様に支援してまいります。 また、ソーシャルワーカーと情報交換を行い、連携に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合には24時間の医療機関と連携を取って対応する事を契約書に記載しております。 ご本人・ご家族との話し合いは兆候が見られる様になった時点で始め、方針の統一を図り、ご家族が望めば同意書を交わした上で看取りも行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時マニュアルを作成し、全スタッフが把握しております。 救命講習にも参加し、ホーム以外でも対応できる様に、定期的な訓練を行い迅速力を身に付けております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	事務所に緊急対応方法が開示してあります。又、災害時に対応できる様 地域の方にも参加して頂き、消防署の指導による訓練を実施しております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	社内・社外の研修で『人格の尊重』について学び、接し方や言葉使いに気を配り、誇りやプライバシーを傷つけない様支援に努めております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃よりコミュニケーションを欠かさず、会話の中から希望や要望を理解し、自己決定出来る様 支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	介護者本位にならず、利用者のペースに合わせて その日その日の希望に沿った支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者様の好みを把握し、季節に合ったお洒落が出来る様支援しております。 日々の身だしなみはコミュニケーションを取る事で、さりげない支援をしております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	栄養バランス・季節感のあるメニューを使用しております。 食事中は利用者とは話を楽しむ為、同じテーブルで食事をし、温かい家庭的な雰囲気心をかけております。 また、毎日一緒に食事の準備をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスが考えられたメニューを使用しております。 水分量・食事量は細かく個人記録に記入し、一人一人把握しております。 その人に合った支援をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	清潔保持の為だけではなく、嚥下や健康の為にも食後の口腔ケアは重要と考え、日々その方に応じたケアに努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄が出来る様にさりげない誘導や声かけをして支援しております。 特に失敗した際などには、自尊心を傷つけない様に汚物の処理など適切な支援をしております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘にならない様に個人の体調に合わせ、水分摂取や運動で予防に努め、排便表・排尿表を作成し日々のコントロールに努めております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週に二日の入浴を基本にしておりますが、希望に合わせて入浴が出来る様一人一人に合わせ、入浴してもらっております。 季節によって ゆずや菖蒲を入れて楽しんでいただいたり、普段は入浴剤を変えて楽しんでいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個人のペースや状態・希望・体調に応じて安心して休んで頂けるよう努めております。 また、居室内の温度にも気を付けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	目的・副作用・用法・容量をファイルに管理し、情報を共用出来るようにしています。 薬袋を色付けしたりチェック表の再確認をする事で誤薬を防いでいます。体調に変化があれば、主治医に連絡し、指示を仰ぎます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者に応じて、調理の手伝い・洗濯物たたみ・干しの手伝い・ポスター作製など、役割を一緒に楽しみながら会話を引き出し、気分転換の支援に努めております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候や体調を考え、希望に沿えるよう外出支援に努めております。 普段歩いては行けないような場所でも支援できるよう車や電車も使用しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が出来ない方は、ご家族と相談の上で管理しておりますが、個々の能力に応じ、所持利用できるよう支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話はいつでも利用でき、取次ぎも行っております。手紙は要望に応じ、ポストに投函したり、一緒に投函しに行く事もあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	危険のない様、動線の確保・清潔に心がけ、イベントの写真や季節感を考え 壁飾りをしたり、心地よい空間作りに努めております。 混乱しないよう 刺激のある音や色などにも気配りをしております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合う利用者同士で同じテーブルを一緒にし食事や会話・レクリエーションを楽しんで頂く様に工夫しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人の意思の尊重をしながら、危険のないよう居場所の工夫をし、馴染みの品をお持ち頂いて心地よく、安心して過ごせるよう配慮しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	事前情報と現在の状態のは空きを心がけております。 又、安定した生活が送れるよう見守り・助言・手伝いをする様にしております。		

(別紙4(2))

事業所名 スカイホーム横浜

目標達成計画

作成日: 平成 27年 1月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	2車線道路に面しているが、太い電線や電柱のケーブル障害があり、災害時にはしご車を利用できない。	ホームからは災害を出さない事	町内の役員方々にも 運営推進会議を通して、電柱を動かせるのか伺いましたが、予算的に難しいとの返答でしたので、ホームからは 火を出さない事を徹底し、漏電しない様、小まめな掃除と火災が発生した際の、初期消火訓練や避難誘導、通報訓練を取り組んで行きたいと思います。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月